

令和4年度
第2回 教育課程編成委員会（看護学科・助産専攻科）
議事録

日時：令和5年3月8日（水）14：00～

場所：看護学科 会議室

委員：今井 可奈子（公益社団法人 三重県看護協会 常務理事）

中谷 三佳（三重県助産師会 副会長）

福田 晶子（三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院 副看護部長）

岸田 美奈（社会福祉法人ユートピア ユートピア在宅介護支援センター 卒業生）

藤田 泰樹（大橋学園高等学校 校長）

尾崎 郁子（ユマニテク看護助産専門学校 学校長）

堀 重信（ユマニテク看護助産専門学校 看護学科 学科長）

丹羽 律子（ユマニテク看護助産専門学校 助産専攻科 専攻科長）

片山 恵里（ユマニテク看護助産専門学校 看護学科 副学科長）

司会：溝田 智也（ユマニテク看護助産専門学校 事務長）

書記：村瀬 正堯（ユマニテク看護助産専門学校 事務員）

オブザーバー：伊達 暢之（社会福祉法人風薫会 法人統括）

1. 学校長挨拶

本日令和4年度第2回教育課程編成委員会参加いただきありがとうございます。コロナ感染も3年目になり、5月に5類に引き下げられる事になりましたが、感染が収束したわけではありません。ウィズコロナの体制で授業の実習を実施してきました。今年度の卒業式は、3月7日に短大の体育館をお借りして、保護者1名の参加で看護・助産別々に実施いたしました。少しずつではありますが、日常に近づいていると思います。本年度の学校の状況を報告させていただき、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。簡単ではありますがご挨拶とさせていただきますと説明。

2. 参加者紹介

委員を1人ずつ溝田事務長が紹介。学園としてメンバーの変更になります。学校長の尾崎が任期のため退任され、堀が学校長になります。片山が学科長になります。丹羽も3月末で退職をする事になりました。4月より新たに助産専攻科長を迎える事になります。溝田も3月末で出向解除になり、名古屋に戻る事になりました。次の事務長が伊達になります。村瀬も3月末で退職になります。学校としても大きく変わりますので、改めてお伝えをさせていただきました。

3. 教育活動について

学生状況報告（資料1）

堀学科長より、資料1を基に看護学科の学生状況の報告。令和4年5/1日と令和5年3/31日と比較して、11名の退学者が出ていると報告。1年生は4名退学。内訳として、1名は家庭の事情。後は学力の低下、他分野の意向にて退学。2年生は1名休学。7名退学。1名現級留置。内訳として、学力の低下が実習の可否に大きく影響を及ぼし、モチベーションが低下している負の連鎖が起きています。3年生は1名現級留置。実習に臨む際の準備不足。国家試験の受験者は58名。合格見込者は54名。東京アカデミーの合格ラインが150点のため、そのラインであれば、93.1%が合格者を予定。

学生状況報告（資料1）

丹羽専攻科長より、資料1を基に助産専攻科の学生状況の報告。令和4年5/1日と令和5年3/31日と比較して、2名退学と3名休学が出ていると報告。理由として退学者は、他分野での進路変更、実習が上手くいかず体調を崩すなど来年度も難しいと判断。休学者は、実習についていけず学力不足目立つ状況。3名とも復学を希望しており、所信書と会長面談を実施し、来年度復学をする予定。卒業見込み25名。国家試験合格見込者21名。助産の国家試験の合格は60%となっておりますので84%が合格者を予定。看護師資格を持っているため、もし不合格になった場合、看護師をしながら翌年再度受験をする予定。

（溝田事務長より）退学者の状況は例年と比較といかがですか？

（堀学科長：返答及び補足）近年ではあれば横ばいではあると思いますが、過去10年レベルで言うと減っていると思います。

（丹羽専攻科長：返答及び補足）ここ数年、退学者休学者はいませんでした。近年稀にみる数字になっていると思います。

（委員：今井氏より）コロナの影響はなかったですか？

（溝田事務長：返答及び補足）コロナの2年目は退学者が減った状況。今年に関してはコロナの影響は特になく、単純に看護は退学者が減った状況。助産に関しては、今後考えていかなければいけないが、入学の時に見極めをしていかなければいけないと考えております。

（委員：中井氏より）助産の退学者で別の進路とありますが、どのような進路になりますか？

（丹羽専攻科長：返答及び補足）まだ決定はしておりません。実習に入った時、助産の産婦さんに関わるのが怖いとなり、親御さんも交えて話し合い、もともと医学部に行きたかった学生でもあるため、まだ進路は決定していないが退学になった状況。

（溝田事務長：返答及び補足）休学者に関しては、所信書と学園理事長の面談を実施。本校の学則規定で休学をした場合、復学する際、休学になった証拠の提出が必要。その証拠として、理事長判断で復学が決定。助産は修業年限が1年の課程になるため、入れても1年だけになる。

4. 令和4年度進路の状況（資料2）

片山副学科長より、資料2を基に看護学科の就職活動状況の報告。卒業生が62名。未定が4名。県外への就職は5名。進学に関しては助産専攻科へ5名。未定の4名の内、2名は卒業のみを予定。残り2名は就職活動中。

卒業生62名 未定が4名 県外が5名

助産専攻科に5名 未定の4名の内、2名は就職

丹羽専攻科長より、資料2を基に看護学科の就職活動状況の報告。卒業生25名。県内18名。県外8名。

（溝田事務長より）看護の国家試験を受けていない方の就職先はいかがですか？

（片山副学科長：返答及び補足）国家試験を受けていない4名の内、2名は就職が決まっていない状態。もう2名は准看護師として就職が決まっております。国家試験が落ちた4名は、個別に対応し、試験の結果が出てから再度病院に確認を取っていく状況。

（丹羽専攻科長：返答及び補足）国家試験が危ない学生は個別に対応。看護師として働いても

大丈夫と言われている。

(委員：今井氏より) 県外に行きたい人は地元に戻りたいと人が多いのですか？

(溝田事務長：返答及び補足) 地元に戻りたい人もいれば、関係病院で働きたい人もいる。沖縄にいる人は、半々で地元に戻る人もいる状況。

5. 令和5年度生募集状況について(資料3)

村瀬より、資料3を基に看護学科の入試状況の報告。受験者116名。合格者102名。入学予定者81名。未確定者4名。昨年度に比べると僅かながら微増になります。8月に高校1・2年生向けのオープンキャンパスを実施。来年度に向けての種まきとして新たに実施。資料3を基に助産専攻科の入試状況の報告。受験者94名。合格者29名。入学予定者27名。復学者3名と合わせて定員30名となります。昨年度に比べると受験者数は減少。オープンキャンパス開催は出来たものの、県外者も多く人数制限や当日のキャンセル等で参加者減少に伴い、受験者数も減少になったと推測。

(委員：福田氏より) 総受験者数に対して、県外受験者が69名は何かあるのですか？

(溝田事務長：返答及び補足) 三重県者での受験者は延べ人数で25名しか受験していない状況。指定校推薦・内部推薦・地域枠での受験者増加が現在課題。産婦人科医会とも協議しており、看護師の人を助産師へ出すのは難しい状況との事。

6. 令和4年度教員研修について(資料4)

堀学科長より、資料4を基に看護学科の教員研修の報告。実施件数が23件。受講者延べ82名。長期にわたる研修があり、教務主任養成講習会、愛知県専任教員養成講習会などに参加。教員16名いる中、様々な研修にも参加し、次年度も継続していきたいと考えています。丹羽専攻科長より、資料4を基に助産専攻科の教員研修の報告。実施件数が33件。受講者延べ56名。教員5名の中、頑張って受講している印象。自分でWEBでの研修を受けていきたいと思っている人や、協議会での研修も実施されているので、幅広く参加できると思います。現地に行かず、WEBでの研修もあり、各専門分野での1名が参加している状況。

(溝田事務長より) 体感的にWEBと対面どちらが多いですか？

(堀学科長：返答及び補足) WEBと対面どちらも選べるようになっている印象。半々と印象。

7. その他

(委員：中谷氏より) 三重県での助産師入職率が全国的に下から3番目の中、市立看護大学だと10名。四日市看護大学も一緒。三重大学では4名。その中でユマニテクが16名は頑張っている印象。